

**東海大学医学部付属病院では、  
受診時に患者さんから得られた試料や診療情報等を  
共同研究機関に提供して下記の臨床研究を行っています。**

下記臨床研究は「東北医科薬科大学臨床研究審査委員会」にて審査承認後、東海大学医学部長・病院長の承認を得て実施しています。

診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化处理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

<b>研究課題名</b>	本邦における再発卵巣癌の臨床実態調査
<b>研究の対象</b>	2019年4月から2022年3月までに日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会委員所属施設において診断・治療を行った再発卵巣癌（上皮性腫瘍・性索間質性腫瘍・胚細胞性腫瘍）の症例
<b>研究の目的・方法</b>	<p>本邦における卵巣癌のうち、約45%は治療後再発を来たすと言われている。卵巣癌の長期予後改善のために再発卵巣癌の臨床実態の詳細な把握が必要であるが、再発卵巣癌に関する全国的かつ系統的な調査は行われておらず、その病態は未だ不明である。</p> <p>本研究では、将来的な日本産科婦人科学会婦人科腫瘍登録調査の新規調査項目として再発卵巣癌の追加の必要性を検討するため、再発卵巣癌の臨床病態、分子生物学的病態、および治療実態を後方視的に明らかにすることを目的とする。</p> <p>研究予定期間：臨床研究審査委員会による承認後、研究機関の長研究実施許可日～2022年5月まで</p>
<b>調査データ該当期間</b>	2019年4月1日～2022年3月31日
<b>研究に用いる試料・情報の種類</b>	<p>情報：患者基本情報（初回診断年度、再発診断時年齢、癌家族歴の有無、遺伝子生殖細胞、体細胞変異の有無、マイクロサテライト不安定性検査結果）、初回治療情報（腹水・胸水の有無と量、細胞診・検査結果、手術・化学療法に関する情報）、再発治療情報（再発時の情報、CA125値と判定結果、手術・化学療法に関する情報）再々発治療情報（治療の有無、化学療法に関する情報、最終転帰）</p>

<p>情報の提供先・ 提供方法</p>	<p>診療録より得られた調査項目を UMIN 医学研究支援 (EDC) システムにて登録を行い、報告します。他機関への情報の提供はありません。</p>
<p>利益相反に関する事項</p>	<p>本研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。</p>
<p>研究組織</p>	<p>本研究は日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会内研究として実施し、以下の研究プロトコルの検討作成を行うコア委員会施設（１）および研究参加予定施設（２）において調査・登録を行う。</p> <p>（１）コア委員会</p> <p>研究責任者 東北医科薬科大学産婦人科学 教授 渡部 洋  研究調整医師 山形大学医学部産科婦人科学 教授 永瀬 智  委員 東北大学医学部産科婦人科学 講師 徳永 英樹  委員 弘前大学医学部産科婦人科学 教授 田畑 務  委員 神戸大学医学部産科婦人科学 教授 寺井 義人  委員 産業医科大学産科婦人科学 教授 吉野 修</p> <p>２） 研究参加予定施設・施設責任者</p> <p>岩手医科大学医学部産科婦人科学 教授 馬場 長  福島県立医科大学産科婦人科学 教授 添田 周  慶應義塾大学産婦人科学 教授 青木 大輔  杏林大学医学部産科婦人科学 教授 小林 陽一  東京医科大学産科婦人科学 教授 西 洋孝  日本大学医学部産科婦人科学 教授 川名 敬  東海大学医学部産婦人科 教授 三上 幹男  横浜市立大学産婦人科 教授 宮城 悦子  名古屋大学医学部産婦人科 教授 梶山 広明  大阪大学医学部産婦人科 教授 木村 正  鹿児島大学医学部産科婦人科学 教授 小林 裕明</p> <p>データセンター（EDC システムの構築およびデータ管理）  東北医科薬科大学病院 臨床研究推進センター管理部門 高橋 聖</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>東海大学医学部付属病院 専門診療学系産婦人科 吉田 浩  神奈川県伊勢原市下糟屋 143  0463-93-1121（代）</p>